

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月16日 (2015.4.16)

【公開番号】特開2015-10082(P2015-10082A)

【公開日】平成27年1月19日 (2015.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-004

【出願番号】特願2013-138884(P2013-138884)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 31/222 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/045

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 31/222

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月3日 (2015.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

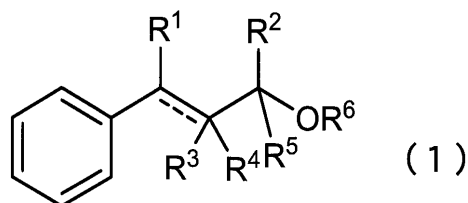
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 ( 1 )

【化 1】



〔式中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は同一又は異なってもよく水素原子又は炭素数 1 ～ 3 のアルキル基を示すか、又は R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>が一体となりそれらが結合する炭素鎖と共にシクロヘキサン環を形成していてもよく、R<sup>3</sup>及びR<sup>4</sup>は同一又は異なってもよく水素原子又は炭素数 1 ～ 3 のアルキル基を示し（但し、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>が一体となりそれらが結合する炭素鎖と共にシクロヘキサン環を形成する場合、R<sup>3</sup>及びR<sup>4</sup>は共に水素原子を示す）、R<sup>5</sup>は炭素数 1 ～ 6 のアルキル基を示し、R<sup>6</sup>は水素原子又はアシル基を示し、また、点線と実線の二重線は単結合又は二重結合であり、単結合である場合のみ R<sup>4</sup>が存在することを示す。〕

【請求項2】

【化 2】



【請求項 3】

防腐剤、防腐助剤、アルコール類及びアンモニアから選ばれる刺激感原因物質による皮膚又は粘膜の感覚刺激を緩和する請求項２記載の刺激感緩和剤。